

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
専門学校岡山情報ビジネス学院		昭和61年7月26日		三村 光		〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人 三友学園		昭和61年7月26日		池田 基熙		〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
商業実務	商業実務専門課程		ホテル・ブライダル学科		平成20(2008)年度	-	平成28(2016)年度	
学科の目的		サービス業の基本精神である「ホスピタリティーマインド」(おもてなしの心)を第一に考え、ホテル・ブライダルの業務に必要な専門知識を修得する。また豊富な実習と研修を通して、思いを形にする力、表現力を身につけ即戦力として通用する人材を育成する。						
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格 等)		【取得可能な資格】ブライダルコーディネイト技能検定 WB認定スリースターメンバー ホテルビジネス実務技能検定試験 マナー・プロトコル検定 サービス接客検定他						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,705 単位時間	750 単位時間	1,010 単位時間	260 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
80 人	64 人		0 人		0 %	12 %		
就職等の状況	■卒業者数(C)		38 人					
	■就職希望者数(D)		36 人					
	■就職者数(E)		36 人					
	■地元就職者数(F)		17 人					
	■就職率(E/D)		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		47 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		95 %					
	■進学者数		0 人					
	■その他							
	アルバイト、フリーター							
(令和 6 年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)								
■主な就職先、業界等								
(令和6年度卒業生)								
【業界】ホテル、ブライダル、ジュエリー								
【就職先】㈱ニュー・オータニ、ヒルトン広島、京都ブライトンホテル、ANAクラウンプラザホテル岡山、岡山国際ホテル、㈱エスクリ、㈱日本セレモニー、(有)ル・クル ジャパン、倉敷セレスト教会クォーレ、㈱トミヤコーポレーション								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 一般社団法人専門職高等教育保証機構 受審年月: 平成31年2月 評価結果を掲載したホームページURL https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf							
当該学科のホームページURL	https://oic-ok.ac.jp/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数		1,705 単位時間					
教員の属性(専任教員について記入)	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		260 単位時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数		75 単位時間					
	うち必修授業時数		335 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		140 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		75 単位時間					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		260 単位時間					
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数		単位					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		単位					
	うち企業等と連携した演習の単位数		単位					
うち必修単位数		単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		単位						
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		1 人					
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		1 人					
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人					
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0 人					
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		2 人					
	計		4 人					
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		3 人					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
サービス業の基本精神である「ホスピタリティーマインド」(おもてなしの心)を第一に考え、お客様や自分の想いを形にする力、表現力を身につけ即戦力として通用する人材を育成することを目指す。また、一生に一度の結婚式、旅行の際のホテルの宿泊等お客様の特別な時間に携わるといった高い意識を持った人材育成の為に、ホテル・結婚式場等を中心に教育内容に関するヒアリングを行い、カリキュラム・授業計画等に反映させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
ホテル・ブライダル業界における人材育成のために、ホテル・ブライダル業界関係者および岡山情報ビジネス学院関係者で構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて教育課程の編成に向けた意見・助言等を受けカリキュラム等の開設・改善・工夫等を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
羽原 俊秀	公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会 常任理事	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
福圓 涼子	有限会社ル・クル ジャパン 統括マネージャー	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
豊田 東	バイオシステム株式会社 岡山国際ホテル 総 支配人	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
石井 健一	株式会社ホテルグランヴィア岡山 総務部 次長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
中原 伸介	株式会社リョービツアーズ 代表取締役COO	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
岩崎 千鶴	専門学校 岡山情報ビジネス学院 常務理事	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	—
大森 晴行	専門学校 岡山情報ビジネス学院 ビジネス系学科群 課長補佐	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)
年2回 (8月、1月)
(開催日時(実績))
第1回 令和6年 8月28日(水) 16:00～18:00
第2回 令和7年 1月29日(水) 16:00～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
サービス業界へ進むものとして、接客スキルをブラッシュアップしていく為の研修を取り入れていくことを検討。
授業において基本的な言葉遣いや所作を学んでいるが、実践として電話応対や接客の会話・所作のトレーニングを現場スタッフよりプロの目線をもって直接指導を実施予定。また2年間の集大成となる「表現結婚式」を校内にとられることなく、ホテルや専門式場での実践を通じ業界に入る前に、プロとしての考え方や意識の向上を図りたい。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

地域内業界の中心となる企業において、県内外を問わず学生の受入れにあたり、ホテル・ブライダル業界スタッフとしてさまざまな業務体験が出来るような企業を選定している。社会常識を身につけ、即戦力のスタッフとして何が必要で何を身につけるべきなのかを体験し理解できる実習になるよう理解をいただいている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業科目の担当教員が実習内容の詳細について、企業側と受入確認および調整を行い、学生の学修成果指標について定める。実習期間中は、担当教員が企業を訪問し、学生の状況を確認するとともに実習担当者と情報交換を行う。実習終了時には、担当者が学生の学修成果の評価と実習レポートの評価を行い、総合評価を担当が行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連 携 企 業 等
サービス基礎演習	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	現役スタッフから現場で実演していただきながら知識を習得することを目的とする。 実践の経験によって今後の現場実習で活用・応用力を養う。現役ホテル・ブランナーから実際の施設でサービススキルを習得し基礎となる料飲サービスやベッドメイク、ドレスフィッティングなどができるようになる。	岡山国際ホテル ル・メルシェ
セルフスタイリング	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	就職活動や社会人として自分の魅力を最大限に引き出しつつ、第一印象から良い印象を与えられるためのスタイリング力を身につけることを目的とする。パーソナルカラー診断やメイク・服装に至るまで自分の魅力を最大限に引き出すとともに、TPOに沿った表現を習得する。	ル・メルシェ
ホテル・ブライダル演習Ⅱ	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	業界理解を目的とし、自身の業界内における将来設計ができる力を身につける。	ウエディングスビューティフル協会等
現場実習	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	業界内の企業で業務理解を深め、スタッフとしての動きを習得する。	ホテルグランヴィア岡山 ANAクラウンプラザホテル岡山 シェラトングランデトーキョーベイ ラヴィール岡山 岡山モノリス等 5社+全17施設
プレゼンテーション演習	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	実社会において必要なプレゼンテーション力を身に着けるための授業である。コミュニケーションが重視される社会において、人前で話すという行為は避けて通ることができない。この授業を通してプレゼンテーションの基本的な知識と技術を伝え、実践する機会を設けることでプレゼンテーション力を身につけていく。	ANAクラウンプラザホテル岡山

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と関係者に対して研修内容の共有を行う。	
(2)研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: ブライダル講師のための勉強会 期間: 令和7年3月25日(火) 内容 本校のカリキュラム軸である認定試験の本部主催研修。「欧米の最新ウェディングの情報」や「東京都内で今旬のウェディングスタイルの情報」など、今すぐに授業に役立つ内容。今現在の最新スタイルを聞き、授業に反映させていく。	連携企業等: ウェディングスビューティフル協会 対象: 土師あやか 吉川実玖
研修名: 県内研修 期間: 令和6年6月11日～14日 内容 県内ホテル・ブライダルの施設見学、及び講話を通じて業界理解を深める	連携企業等: ラヴィール岡山 ANAクラウンプラザホテル岡山 対象: 吉川 実玖
研修名: 県外研修 期間: 令和6年9月12日、13日 内容 東京のホテル施設見学、及び講話を通じて業界理解を深める	連携企業等: シェラトン・グランデ・トーキョーベイホテル 対象: 吉川 実玖
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 「志セミナー」株式会社ミアーズ 代表取締役 前村美樹さん講演 期間: 令和6年6月13日 9:30-10:30 内容 業界をリードする経営者を講師に迎え、自身の経験を踏まえながら、「変化する時代に生き抜く力を身に付ける方法」「自身の力でキャリアをデザインする生き方」について講演いただく。自分自身の人生や社会課題の解決について考える機会とし、一人ひとりのやる気と行動の原点につなげていく。	連携企業等: 株式会社ミアーズ 対象: 教務課職員
研修名: 学生指導力を向上させるマネジメント研修 期間: 令和7年3月11日～12日 内容 学校における強みを理解し、教職員が柱である授業運営やガイダンスに注力できる環境を構築し、学生指導力の向上を図る。	連携企業等: 株式会社インソース 対象: 学科責任者
(3)研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: ブライダル講師のための勉強会 期間: 令和7年8月頃予定 内容 本校のカリキュラム軸である認定試験の本部主催研修。「欧米の最新ウェディングの情報」や「東京都内で今旬のウェディングスタイルの情報」など、今すぐに授業に役立つ内容。今現在の最新スタイルを聞き、授業に反映させていく。	連携企業等: ウェディングスビューティフル協会 対象: 土師あやか 吉川実玖
研修名: マナー・プロトコール検定指導者向け勉強会 「学内検定合格率アップのポイント」 期間: 令和7年7月6日(日) 内容 東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校の甲斐 一騎 先生による検定合格率アップの講義。マナー・プロトコール検定3級の学内試験では、ほぼ毎年優秀校に選出されています。今回は、当検定の合格率アップに向けた同校での取り組み等について具体的にアドバイスをいただける。	連携企業等: 日本マナー・プロトコール協会 対象: 土師あやか
研修名: ブライダル講師のための勉強会 期間: 令和8年3月頃予定 内容 本校のカリキュラム軸である認定試験の本部主催研修。「欧米の最新ウェディングの情報」や「東京都内で今旬のウェディングスタイルの情報」など、今すぐに授業に役立つ内容。今現在の最新スタイルを聞き、授業に反映させていく。	連携企業等: ウェディングスビューティフル協会 対象: 土師あやか 吉川実玖

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	組織を強くする人材育成	連携企業等:	株式会社東京カモガシラランド
期間:	令和7年5月7日	対象:	学科責任者
内容:	人材育成の重要性を再確認し、日頃のマネジメントに活用することにより、教職員全体の成長につなげていくとともに、学生指導にも効果的に活用する。		
研修名:	AI活用術	連携企業等:	ユースフル株式会社
期間:	令和7年10月予定	対象:	教員
内容:	ChatGPT等のAI技術を活用することによる授業準備効率の向上手法を学ぶ。		
研修名:	救命救急講習	連携企業等:	岡山市消防局
期間:	令和7年8月予定	対象:	全教職員
内容:	心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法など、基本的な応急処置を学ぶ		

(別途、以下の資料を提出)

- * 研修等に係る諸規程
- * 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- * 研修等の計画(推薦年度における計画)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の順守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

入試を実施しても、ほぼ全員が入学する状況であると考えられる。こうした状況を踏まえ、今後どのような取り組みが必要であるかについてご意見をいただいた。

その中で、本校の強みの一つである「面倒見の良さ」は引き続き維持しつつ、アドミッションポリシーに掲げる「これまでより、これから」を意識し、入学後に学生自身の意思によって成長できるような支援を行っている。

具体的には、教職員が一丸となって、授業や個別面談、課外活動、キャリア支援など、あらゆる場面で学生に寄り添い、声をかけ、適切な支援や挑戦の機会を提供するなど、積極的かつ継続的に関わっている。

あわせて、アクティブラーニングやプロジェクト型学習など指導方法の工夫を重ね、学生の主体的な学びを促すとともに、地域や企業、卒業生との連携を通じて、実社会とつながる学びの場を構築している。今後もこうした多面的な取り組みにより、学生一人ひとりの成長を着実に支えていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
畑 嘉昭	株式会社トスコ 代表取締役社長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員 (IT)
平野 彰一	社会福祉法人岡北福祉会 岡北学園 理事長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員 (保育)
守井 照久	税理士法人 創明コンサルティング・ブレイン 代表社員	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (会計)
真鍋 洋志	菅公学生服株式会社 取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (ビジネス)
山本 渉	医療法人 和香会 倉敷スイートホスピタル 事務局長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (医療)
豊田 東	バイオシステム株式会社 岡山国際ホテル 総支配人	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (ホテル)
高橋 京恵	株式会社FIL DESIGN 代表取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (デザイン)
北牧 涼輔	NAYUG合同会社 代表社員	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (ゲーム)
米谷 紀彦	自衛隊香川地方協力本部 東讃地区隊長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (公務員)
芳原 慶真	コーセーエンジニアリング株式会社 総務部 部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (留学生)
早崎 律貴	スマートスケープ株式会社 DE事業部 製造ソリューション部 部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	卒業生
藤田 直樹		令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://oic-ok.ac.jp/about/info/>

公表時期: 毎年10月1日に更新

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護法)
(2) 各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラム
(3) 教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育への取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7) 学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://oic-ok.ac.jp/about/info/>

公表時期: 毎年6月に更新

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7、8についても同じ。)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ビジネス実務ⅠA	社会常識・マナー・コミュニケーション能力を習得し、社会人としての基礎力と自分のキャリア形成について学ぶ。	1前期	60	4	○			○		○		
2	○			ウェディングスペシャリスト実務Ⅰ	欧米と日本における慣習理解と業界最高峰の職種（フリーランスプランナー）理解から欧米ブライダルビジネスにおける知識を習得する。 欧米ブライダル市場でビジネス展開が出来る人材構築と専門知識・慣習知識を理解することを目的とする。	1前期	30	2	○			○		○		
3	○			イベントプロデュースⅠ	相手への思い、周囲への思いを「形」で表現する。 イベントの企画運営実施を通して表現するための考え方を理解することや、作品ではなく商品を創り上げる中でプロとしての考え方と行動を身に付ける。 外部ゲストの高校生へ楽しく業界知識を学べるドレス試着体験パーティーを企画、施行する。	1前期	60	4		○		○		○		
4	○			ホテルビジネス基礎実務Ⅰ	ホテル実務技能認定試験初級を目指し、宿泊・料飲部門の知識・技術を習得する。ホテル実務技能認定試験初級に合格できるよう、宿泊・料飲といったホテル業務に必要な実務知識を体系的に習得する。	1前期	45	3	○			○		○		
5	○			接客サービス実務Ⅰ	サービス業務に対する心構え、対人心理などの理解、対応の技術、口の利き、ビジネスマナー、テーブルマナー、冠婚葬祭の知識、これらに伴う態度振る舞い、その在り方を学ぶ。サービス接客実務について理解を持ち、一般的なサービスを行うのに必要な知識、技能を学ぶ。	1前期	30	2	○			○		○		
6	○			ホテル・ブライダル演習Ⅰ	業界理解を目的に会場見学や現場のプロの講話からやりがいや業界の魅力を分析。また、県内研修へ向けての動機付け・準備・振り返りを行い、夢を明確化することができる。	1前期	15	1		○		○		○		
7	○			情報リテラシーⅠ	表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2019)の基本的なしくみと特徴(計算・グラフデータベース等)を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。	1前期	15	1		○		○		○		

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
8	○			ホテル英会話Ⅰ	グローバル化が進む中、ホテル・ブライダル業界で接客に携わるうえで英会話が必須の時代となっている。接客に必要な英会話力を養うとともに、異文化を学び、外国人とも気負うことなくコミュニケーションを取れるようにする。	1前期	15	1	○			○			○	
9	○			韓国語会話Ⅰ	インバウンドにおいてもアウトバウンドにおいても日本にとって重要な隣国である韓国の言語について、基本的な会話能力の向上を目指す。日常的な状況で、基本的に双方向のコミュニケーションを行いうる程度の基礎的な言語運用能力を養う。	1前期	15	1	○			○			○	
10	○			サービス基礎演習	現役スタッフから現場で実演していただきながら知識を習得することを目的とする。実践の経験によって今後の現場実習で活用・応用力を養う。現役ホテリエ・プランナーから実際の施設でサービススキルを習得し基礎となる料飲サービスやベッドメイク、ドレスフィッティングなどができるようになる。	1前期	15	1		○			○		○	○
11	○			セルフスタイリング	就職活動や社会人として自分の魅力を最大限に引き出しつつ、第一印象から良い印象を与えられるためのスタイリング力を身につけることを目的とする。パーソナルカラー診断やメイク・服装に至るまで自分の魅力を最大限に引き出すとともに、TPOに沿った表現を習得する。	1前期	15	1		○		○			○	○
12	○			ウエディングプランナー実務Ⅰ	多様化するカップルのニーズに対応するため、婚礼に関する専門的な知識と実践的なスキルを身に付け現場で活かすことができる。日本のウエディングの歴史から伝統・慣習、現在の市場状況に関する知識を習得し、ウエディングプランナーの業務内容として新規接客業から婚礼施行・打合せ業務を理解することを目的とする。	1前期	30	2	○			○		○		
13	○			ドレスコーディネーター実務Ⅰ	婚礼衣装に関する専門的な知識と実践的なスキルの修得を目的とする。洋装・和装の専門知識、貸衣装業に携わるために必要な実践的技術に加え、ドレスコーディネーターと関連の深い美容・フラワーの基礎知識までを網羅する。	1前期	30	2	○			○		○		
14	○			一般教養Ⅰ	情報化・国際化が進む現代社会においては、他人の文章を正確に読み取り、自分の考えや意見を的確に文章で表現する能力が生きていくうえで大事なコミュニケーション力になる。よって文章でのコミュニケーション力や論理的思考力、表現力を高めることを目的とする。	1前期	15	1	○			○		○		

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
15	○			ビジネス実務ⅡA	社会常識やマナー、面接対策などを通じて実践力を養い、職業理解と将来設計に必要な基礎力を身につける。	1後期	45	3	○			○		○		
16	○			ウェディングスペシャリスト実務Ⅱ	欧米と日本における慣習理解と業界最高峰の職種（フリーランスプランナー）理解から欧米ブライダルビジネスにおける知識を習得する。 宗教に基づく結婚式における重要知識と欧米で展開するビジネスモデルを理解することを目的とする。	1後期	30	2	○			○		○		
17	○			イベントプロデュースⅡ	相手への思い、周囲への思いを「形」で表現する。 イベントの企画運営実施を通して表現するための考え方を理解することや、作品ではなく商品を創り上げる中でプロとしての考え方と行動を身に付ける。 外部ゲストの高校生へ楽しく業界知識を学べるハロウィンパーティ、保護者へ1年間の集大成を披露するランクアップセレモニーを企画、施行する。	1後期	60	4		○		○		○		
18	○			ホテルビジネス基礎実務Ⅱ	ホテル実務技能認定試験初級を目指し、宿泊・料飲部門の知識・技術を習得する。宿泊・料飲・法律といったホテル業務に必要な実務知識を習得する。	1後期	45	3	○			○		○		
19	○			接客サービス実務Ⅱ	国際人として心得ておきたいプロトコル、ビジネスマナー、テーブルマナー、冠婚葬祭の知識などこれらに伴う態度振る舞い、その在り方を学ぶ。マナー・プロトコルについて初歩的な知識を持ち、技能の基本を理解できる。	1後期	15	1	○			○		○		
20	○			ホテル・ブライダル演習Ⅱ	業界理解を目的に会場見学や現場のプロの講話からやりがいや業界の魅力を分析。また、県外研修へ向けての動機付け・準備・振り返りを行い、早期に就職活動に意識を高めることができる。 現場実習へ向けて学内で事前指導を受け、実習の心構えや目標を学んだのちに、職場での就業体験を行う。事後指導での振り返りや成果発表によって、自己の職業適性や将来設計について考える機会とし、主体的な職業選択や高い職業意識の形成に繋げる。	1後期	60	4		○		○		○		
21	○			情報リテラシーⅡ	表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2019)の基本的なしくみと特徴(計算・グラフデータベース等)を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。	1後期	30	2		○		○		○		

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
22	○			ホテル英会話Ⅱ	グローバル化が進む中、ホテル・ブライダル業界で接客に携わるうえで英会話が必須の時代となっている。接客に必要な英会話力を養うとともに、異文化を学び、外国人とも気負うことなくコミュニケーションを取れるようにする。	1 後期	15	1	○			○			○	
23	○			韓国語会話Ⅱ	インバウンドにおいてもアウトバウンドにおいても日本にとって重要な隣国である韓国の言語について、基本的な会話能力の向上を目指す。日常的な状況で、基本的に双方向のコミュニケーションを行いうる程度の基礎的な言語運用能力を養う。	1 後期	15	1	○			○			○	
24	○			ウエディングプランナー実務Ⅱ	多様化するカップルのニーズに対応するため、婚礼に関する専門的な知識と実践的なスキルを身に付け現場で活かすことができる。 日本のウエディングの歴史から伝統・慣習、現在の市場状況に関する知識を習得し、ウエディングプランナーの業務内容として新規接客業から婚礼施行・打合せ業務を理解することを目的とする。	1 後期	15	1	○			○		○		
25	○			ドレスコーディネーター実務Ⅱ	婚礼衣裳に関する専門的な知識と実践的なスキルの習得することを目的とする。 洋装・和装の専門知識、貸衣裳業に携わるために必要な実践的技術に加え、ドレスコーディネーターと関連の深い美容・フラワーの基礎知識までを網羅する。	1 後期	15	1	○			○		○		
26	○			一般教養Ⅱ	情報化・国際化が進む現代社会においては、他人の文章を正確に読み取り、自分の考えや意見を的確に文章で表現する能力が生きていくうえで大事なコミュニケーション力になる。 よって文章でのコミュニケーション力や論理的思考力、表現力を高めることを目的とする。	1 前期	15	1	○			○		○		
27	○			現場実習	ホテルや専門式場等の施設において、短期間で集中して、実際の仕事や職場の状況を体験し、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようにする。 また、実習後、しっかりとした職業意識をもって、何を学ぶ必要があるのかを認識し、学習効果をより向上させる。	1 後期	140	4			○	○	○	○		○
28	○			ビジネス実務ⅢA	社会常識・ビジネスマナー・コミュニケーション能力を1年次よりさらに深め、実践的な対応力を養うことを目的とした講義。	2 前期	45	3	○			○		○		

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
29	○			国際文化演習	グローバル化が進む現代社会でサービス業界においてはインバウンド観光客の対応が必須となる中で、日本人にはなじみが薄い信仰、戒律、儀礼に基づく宗教について理解することを目的としている。 また留学生学科とのコラボレーション授業で、各宗教における文化や慣習を学び結婚式のプレゼンを行い現場で活かせる知識を深める。	2前期	45	3	○			○		○		
30	○			イベントプロデュースⅢ	相手への思い、周囲への思いを「形」で表現する。 イベントの企画運営実施を通して表現するための考え方を理解することや、作品ではなく商品を作り上げる中でプロとしての考え方と行動を身に付ける。 保護者へ1年間の集大成を披露するランクアップセレモニーの施行、新入生へのウェルカムパーティを企画施行する。	2前期	30	2		○		○		○		
31	○			ブライダルプロデュースⅠ	イベントプロデュースで培った企画運営の基礎知識を基盤に、表現方法を結婚式演出で行いブライダル商品の企画提案と運営を行う。専門知識として習得した海外・日本の結婚式を実践する。オンラインを使ったミーティングなども利用し、チームで仕事をする（準備、本番）重要性を体感するとともに業務の仕方を学ぶ。	2前期	120	4		○		○		○		
32	○			ホテル・ブライダル演習Ⅲ	専門科目内で修得しきれない実践技術を修得する。 現場のプロからの講義により現場で求められている人材も含め、技術も知ること、働く意識向上にもつなげる。	2前期	30	2		○		○		○		
33	○			ユニバーサルサービスⅠ	年齢や性別、障害の有無に関わらず、全ての人から顧客満足を生み出す接客・接客ができるようになることを目的とする。	2前期	30	2	○			○		○		
34	○			ペン字	美しい文字を書くことの大切さを理解し、その為の正しい姿勢・呼吸・ペンの持ち方を学ぶ。ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本店画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形を学ぶ。	2前期	15	1		○		○			○	
35	○			ブライダルビューティー演習	・ブライダルにおける美容の基礎知識を身に付ける ・留袖着付けの実習にて、着付けおよび着物の畳み方、扱い方を習得 ・簡単なヘアアレンジを理解する	2前期	24	1		○		○			○	

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
36	○			フラワーアレンジメント演習	フラワーデザインの基本的な知識を身につけ、形や構成をテーマにして表現する。ブライダルで使用する装花（ブーケ、卓上装花、メイン装花）の基本形態の習得し、現場で活かせる知識を深める。	2前期	26	1		○		○			○	
37	○			ホテル英会話Ⅲ	グローバル社会が進む中で、ホテル・ブライダル業界では英会話が必須の時代である。接客基礎英会話力を身に付け、また異文化を学ぶことで、社会に出た時に外国人の方とも臆することなくコミュニケーションを取れる人材になることを目指す。	2前期	15	1	○			○			○	
38	○			プレゼンテーション演習	実社会において必要なプレゼンテーション力を身に着けるための授業である。コミュニケーションが重視される社会において、人前で話すという行為は避けて通ることができない。この授業を通してプレゼンテーションの基本的な知識と技術を伝え、実践する機会を設けることでプレゼンテーション力を身につけていく。	2前期	45	3		○		○		○		○
39	○			情報リテラシーⅢ	ワープロソフト (Microsoft Office Word 2016) の基本的なしくみと特徴を紹介しながら、文書の作成・整理・加工方法などの基本的な操作方法を使いこなし、応用技術を理解する。	2前期	30	2		○		○		○		
40	○			ビジネス実務ⅣA	1年次の学びを基にマナー等の知識を深め、検定受験や就職活動を通じて実践力と社会人としての心構えを養う講義。	2後期	30	2	○			○		○		
41	○			ブライダルプロデュースⅡ	イベントプロデュースで培った企画運営の基礎知識を基盤に、表現方法を結婚式演出で行いブライダル商品の企画提案と運営を行う。専門知識として習得した海外・日本の結婚式を実践する。オンラインを使ったミーティングなども利用し、チームで仕事をする（準備、本番）重要性を体感するとともに業務の仕方を学ぶ。	2後期	165	4		○		○		○		
42	○			ホテル・ブライダル演習Ⅳ	専門科目内で修得しきれない実践技術を修得する。現場のプロからの講義により現場で求められている人材も含め、技術も知ること、働く意識向上にもつなげる。	2後期	30	2		○		○		○		
43	○			ユニバーサルサービスⅡ	年齢や性別、障害の有無に関わらず、全ての人の顧客満足を生み出す接客・接遇ができるようになることを目的とする。	2後期	15	1	○			○		○		

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
44	○			ブライダル コーディネー ト	1年半で学んだブライダルの総まとめとして、日本で最大にして唯一のブライダル協会である、公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会の主催する「ブライダルコーディネート技能検定3級」を取得する。	2 後期	30	2	○			○		○		
45	○			ホテル英会話 Ⅳ	グローバル社会が進む中で、ホテル・ブライダル業界では英会話が必須の時代である。 接客基礎英会話力を身に付け、また異文化を学ぶことで、社会に出た時に外国人の方とも臆することなくコミュニケーションを取れる人材になることを目指す。	2 後期	15	1	○			○			○	
46	○			卒業研究Ⅰ	ホテル・ブライダルの業界人として活躍していくにあたり今の業界の課題点を主体的に研究させ、業界の理解を深め、そして課題解決を含め想像力・提案力を高め現場で活用し成果を上げられるようになることを目指す。	2 後期	60	4		○		○		○		
47			○	企業実習	内定先企業で、現場において留意点や技術向上のための知識・技術を学ぶ。	2 後期	120	4			○		○	○		○
48		○		ペン字上級	日常生活に役立つ行書（美しいつづけ字）を学ぶ。 行書のルールを覚え、一筆箋、封筒、年賀状、のし袋（筆ペン）を書いてみる。	2 後期	15	1		○		○			○	
49		○		ビジネス英語	グローバル社会が進む中、企業内の標準言語が英語になるなど、ビジネスにおいて英語を使う機会が増えている。ビジネスの場で、簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付けることを目的としている。	2 後期	15	1	○			○			○	
50		○		エクセル上級	Excelのスキルををあらゆるビジネスシーンで活用できるように、基礎知識から応用まで幅広く学び、PCスキルを社会で活かせる人材育成を目的とする。	2 後期	15	1		○		○		○		
51		○		医療事務	医療機関の役割、医療保険制度の仕組みを知り、簡単な医療費の計算方法を習得する。	2 後期	15	1		○		○		○		
52		○		RPA実習	作業自動化ツールであるRPA(Robot Process Automation)の構築を題材に、プログラムの思考力を養う。	2 後期	15	1		○		○		○		
53		○		情報リテラシー	業務で役立つWindowsの便利な機能や、社会に出てから必要となるセキュリティ知識やAIの活用方法などについて学ぶ。	2 後期	15	1		○		○		○		

(商業実務専門課程 ホテル・ブライダル学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
54		○	データマーケティング	データを根拠に考え、新しいアイデアを考案するための方策を学ぶ。Excelを活用した分析手法についても修得する。	2 後 期	15	1		○		○		○		
55		○	ファイナンスプランナー	身近なお金の知識やこれから必要になるお金の知識を学ぶ。投資など資産運用について基本的な知識を身につける。	2 後 期	15	1	○			○		○		
56		○	一般知能	数的推理・判断推理を論理的な思考から、解答する力を答練を通じて身につける。	2 後 期	15	1	○			○		○		
57		○	フラワーアレンジメント	フラワーデザインの基本的な知識を習得し、形や構成からテーマを表現する。	2 後 期	15	1		○		○			○	
58		○	ゲームプログラミング	ゲームプログラミングを通じて論理的思考法を身に付ける	2 後 期	15	1		○		○		○		
59		○	広告映像	会社の広報SNSなどに必要な写真の撮影、および動画制作を通して、情報や魅力をわかりやすく伝える力を身につける。	2 後 期	15	1		○		○		○		
60		○	ビジュアルデザイン	デザインアプリFigmaを使用。商業デザインの制作を通して、レイアウト、表現技法を学ぶ。	2 後 期	15	1		○		○		○		
61		○	世界情勢	自国の習慣や考えだけにとらわれることなく、他国の習慣・文化に共感し、異文化間での協力関係を構築する素地を身につける	2 後 期	15	1		○		○		○		
合計				67 科目		2020 単位 (単位時間)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： ・卒業基準検定もしくは、認定試験の取得 ・授業への出席80%以上 ・履修するすべての科目において、S・A・B・Cいずれかの成績評価を得ること。		1学年の学期区分	2期
履修方法：学科・専攻で定められたカリキュラムについて履修すること。		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。